

平成 27 年度
目白大学大学院心理学研究科 公開講演会
カウンセリングって何なのか、
今、あらためて考えよう
～心理職に今、何が求められているのか～

講師： 福島脩美先生
(目白大学名誉教授)



講師経歴

心理職の国家資格である「公認心理師」法案が可決され、カウンセラーがますます社会の中で活躍することが期待される時代が目の前に迫っています。

このことは望ましいことではありますが、国家資格としての責任と自覚がますます求められているともいえましょう。

そこで、今回の研究科講演会では、目白大学名誉教授・福島脩美先生をお迎えし、あらためて今、「カウンセリング」とは何なのか、そして、心理職には何が求められているのかという根源的、本質的なテーマについて講演して頂きます。

福島脩美先生は、日本で初めて「心理カウンセリング」という名称の学科を本学に設立するとともに、我が国の「カウンセリング・心理療法界」を常にリードしてきた大重鎮(レジェンド)です。

今、カウンセリングとは何かを語ることのできる唯一無二の存在ともいえるでしょう。

この貴重な機会を、ぜひ逃すことなく、大学院生のみならず心理カウンセリング学科の学生、心理臨床に興味のある一般の方も奮ってご参加下さい。

※当日は、新しい書籍の販売とサイン会を行います。

1937年生まれ。

東京学芸大学教授を経て、目白大学教授。人間社会学部長、心理学研究科長を歴任。

バンデューラを日本に紹介するとともに、日本で初めて行動理論に認知の側面を取り入れた論文を発表するなど、心理学・カウンセリング界の先駆的役割を果たして来た。

現在、目白大学名誉教授。

東京学芸大学名誉教授。

日本認知・行動療法学会名誉会員。

日本カウンセリング学会常任理事／認定カウンセラー／スーパーバイザー。

日時：2016年1月30日(土) 14:00～16:00

場所：7号館3階7300教室

：参加費無料(予約不要)

(終了後、7号館地下ポローニアにて懇親会を行います)